

会場案内

東京海上火災保険株 新館15階 大会議室
〒100 千代田区丸の内1-2-1
TEL.(03)212-6211



- JR東京駅から徒歩3分
- 地下鉄 千代田線(二重橋前)徒歩1分
三田線(大手町)徒歩2分
丸の内線(東京)徒歩3分
東西線(大手町)徒歩3分

●お問い合わせは

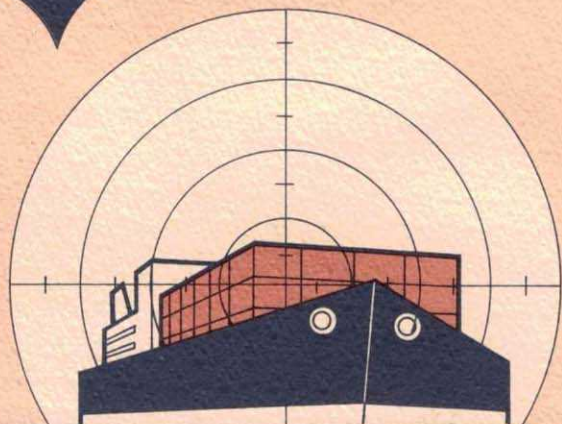
〒100 東京都千代田区丸の内1-2-1
東京海上火災保険株式会社
貨物損害部・輸入第二課
担当：朝岡・伊藤
TEL.(03)285-1944

貨物損害防止セミナー

Seminar

暗躍する 国際犯罪組織と 貨物損害

頻発する貨物盗難・貿易詐欺の
実態とその防止策



主催
東京海上火災保険株式会社

暗躍する国際犯罪組織と貨物損害

頻発する貨物盗難・貿易詐欺の実態とその防止策

世界貿易の進展と貨物の高額化に伴い、輸出入貨物を狙った海事犯罪も大型・巧妙化し、近年ではその被害件数・被害額とも飛躍的に増加しており、この被害防止は荷主・運送人・保険者のみに止まらず、関係各位の多大な関心を集めるところとなっています。しかしながら、各国の裁判管轄や法制の狭間を巧妙に突く犯罪シンジケートの動きに、既存の警察組織では十分対応しきれないのが実情で、東南アジア、ヨーロッパ、米国などを舞台として次々と大型の犯罪が繰り返されています。具体的には、

- (1) 欧米でのコンテナ入り高額電機製品等の大量盗難
- (2) 欧州・香港の空港に於ける航空貨物の組織的技荷
- (3) 東南アジアでの不審船舶の沈没・行方不明事件
- (4) B/LやL/C等の貿易書類の偽造・不正使用による売買代金の詐取
- (5) ナイジェリア原油に代表される貨物の架空売買・代金詐取等々が最近の主な犯罪として報告されています。

これらの犯罪の摘発と被害防止の為に、現在最もアクティブに活動しているのは、ロンドンに本部を置く国際商工会議所の下部機構である国際海事局 (ICC International Maritime Bureau) です。本セミナーでは、この ICC IMB の局長である Eric Ellen 氏をメイン・スピーカーとして迎え、同氏がこれまで自から体を張って行なってきた犯罪組織の摘発と、それに至るまでの犯人グループとの生々しい接触・交渉の体験談を通じて、海事犯罪の裏に潜む恐るべき国際犯罪組織の実態と被害防止策を探って行きたいと思えます。また Ellen 氏以外に、貨物保険損害処理/貿易為替書類/海事関係法律問題の分野に於ける日米の第一人者3名を招き、シンポジウム形式にてそれぞれの専門分野について、実務経験に裏打ちされた問題点の提起と被害防止策についての講演を行います。

本セミナーでは、商社・メーカー等の荷主各位に止まらず、陸海空運業など、広く国際貿易に従事しておられる各位に、必ず有効な情報をご提供できると確信しておりますので、よろしくご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

申込要領

● 日時 ●

1990年10月24日(水) 14:00～17:00

● 場所 ●

東京海上火災保険(株) 新館15階 大会議室
(裏面地図参照)

● 内容 ●

シンポジウム

「暗躍する国際犯罪組織と貨物損害」
頻発する貨物盗難・貿易詐欺の実態とその防止策
(通訳付)

● 講師 ●

Mr. Eric Ellen

(ICC IMB局長)

「恐るべき犯罪シンジケートとの対決」

Mr. Wallace Appelton

(トウキョウ・マリン・マネジメント・インク海損部長)

「米国におけるコンテナ入り高額貨物盗難の
実態と損害防止策の実施報告」

飯田 勝人氏

(東京銀行システム部審議役)

貿易書類の偽造

「いわゆるDocumentary Fraudの実例と防止策」

藤井 郁也氏

(海事弁護士・藤井・戸田・土田法律事務所)

「弁護士から見た海事犯罪とその対策」

● 参加料 ●

無料

● 申込方法 ●

整理の都合上、同封の参加申込書(葉書)に必要事項をご記入の上、弊社宛お送り下さい。会場の関係で勝手ながら先着150名様にて定員とさせていただきます。